

☆イベント予定☆

♪山子屋保育園 子育てイベント

11/7 親子カフェ	11/14 やきいも大会
11/28 人形劇	12/19 クリスマス会
1/9 もちつき	1/17 こままわし
1/23 けん玉ショー	2/21 親子カフェ
3/28 移動動物園	



*時間、参加費などの詳細はホームページをご確認ください。

*上記以外にも園庭開放など行っていますので、遊びにきてくださいね。

♪山の子 LIVES(学童保育)入園説明会

令和2年度4月からの新規入園の受付を
12月3日から開始します。

山の子 LIVES の育成内容や料金について
知りたい方は、随時、見学可能です。

見学の際に申請書類をお渡しします。

見学の際は

山の子 LIVES へ電話で予約してください。

*都合のつかない方、ご質問のある方は
ご相談ください。

♪山子屋保育園

随時施設見学等行っています。

お電話にて受け付けていますので、

ご希望の方はご連絡ください。



問い合わせ先

山子屋保育園

〒666 - 0153

川西市一庫字区田 3-1

TEL 072 - 795 - 0373

ホームページ <https://yamagoya-kawanishi.com>

山の子 LIVES (放課後児童育成クラブ)

〒666 - 0105

川西市見野 2-24-9 山下見野ビル 2階

TEL 072-794-8375

やまごやしんぶん 2019.11月



山子屋保育園

放課後児童育成クラブ
山の子 LIVES

川西市一庫字区田 3-1

TEL 072 - 795 - 0373

季節はすっかり進み、このところ急速に朝夕寒くなってきました。この間の台風19号による被害は想像を絶するような事態になり、各地で被災された方々の安全確保と、被災地の一日も早い復旧を祈るばかりです。

山子屋保育園の運動会は全員参加で無事終わり、どの子どもも自信をつけてひと周り大きく成長したようです。

給食試食会や子育てイベントも定着してきて地域の方にも参加いただいています。

これからも続けて予定していますので、ぜひご参加くださいね！

ノーベル賞受賞会見の言葉から見える幼児期に大切なこと

先日、リチウムイオンの発明でノーベル賞受賞された吉野氏の記者会見をご覧になった方も多くいたかと思います。その中の言葉でとても興味深いことを話されていました。研究者には・・・

『頭の柔らかさ、柔軟性と、それと真逆の執着心、あきらめない気持ちの二つが必要。』と。いわゆる「創造力」と「やりぬく力」ですね。これらは最近教育現場で注目されている力で、非認知能力と言われています。研究者に限らず、人生の成功にはいわゆるIQや学力テストで計測されないこの非認知能力(自制心・自立心・意欲・やり抜く力・好奇心)が重要で、幼児期(0~6歳)の育ちの在り方が大きく関わるものとして、幼児教育の重要性が注目されているだけでなく、学校教育も見直されるようになっていきます。

子どもは遊びの中で育ちますが、子どもを取り巻く環境が変わり、今はただ遊んでいるだけではそのような力がつく時代ではなくなってきました。今が楽しければいい、だけではなく、先を見据え取って力をつけるような機会を作っていかなければいけません。

山子屋保育園では遊びで身につける感覚と同時に、毎日少しずつの取り組みを続けることで、非認知能力を育て、どの子どもができるようになるという自信と、その喜びを大きな力にして育っていきます。

子どもの接し方において最近注目されているテーマ

*子どもは褒めて育てた方がいいのか。

最近「自己肯定感」という言葉がよく聞かれます。

この「自己肯定感」が高いと自分に自信を持ち、何でも意欲的に取り組めるということです。そのためには子どもは褒めて育てるのが良いという情報が多いためか、育児に熱心な親ほどやたらに褒めて育てようとする方が増えているように感じます。

しかし、過剰に褒められていると、もっと褒められたくて相手の顔色を伺い、評価を気にして失敗を恐れ、臆病になることがあります。また、「あなたはやればできるのよ」と努力したことではなく、能力を褒めると、意欲を失い実力の伴わないナルシスト的な傾向にもなりがちです。決して褒めてはいけないということではありません。

年齢、発達に応じた自然な褒め方はあって当然です。

ではどのようにすればいいのでしょうか・・・

まず大切なのは成功体験を積み重ねることだと思います。0歳から2歳位までは身近な人が共感し、しっかりコミュニケーションをとること、それ以降になると年齢に見合った小さな成功体験を積み重ね、過剰な褒めすぎはやめて努力したこと、頑張りを褒めることです。そして自分は努力できたという自信をつけさせてあげたいものです。そのあとに本当の自己肯定感は育つはず

よく食べる子・食べない子



子どもの食事で悩む方は多いかと思います。好き嫌いやムラ食い、じっと座っていないや少食、逆に食べ過ぎでいくらでも欲しがると・・・

保育園では何でも食べるのに家では食べない、家だと次々欲しがって我慢ができない・・・など保護者から色んな悩みを聞きます。

ポイントは3つ

- ・しっかりお腹を空かせること

(食べない→間食→好き嫌い→集中せずムラ食いの悪い習慣が付きます。決まった時間以外に欲しがっても悪習慣をつけないようお腹を空かせる習慣をつけましょう。)

- ・一定時間で食べきれぬ量を出す(目安は20分~30分)

(量には個人差があります。好きなものばかり出さず、はじめは少しずつバランスよく出して、食べ切れたらおかわりにしましょう。欲しがるとダラダラ食べはやめましょう。)

- ・苦手なものでも繰り返し食べてみる。

(ふとした瞬間食べたりします。調理方法で変わったりもしますよ。)

保育園の運動会

10月5日 天気に恵まれ、無事運動会を終えることができました。

どの年齢の子どもも、それぞれが達成感を感じられるように、山子屋の運動会は取り組む内容も個々に違います。

年長になってくると、仲間と共に頑張りたいという気持ちをバネに苦手なことにもチャレンジしていました。逆上がりだって、全員成功!「全員ができる!」を大切に練習を重ね、本番で成功した時の笑顔は大きな自信の表れです!



小さい時からの基礎習慣



子どもの育ちに何より大切な生活習慣。わかっているけど、つい・・・なんてこともあるのではないのでしょうか。

しかし日々の積み重ねが、年齢が上がるごとに大きな差を生みます。

脳の育ちには1日10時間以上の睡眠が必要だと言われています。学習意欲だけでなく、感情のコントロールなど睡眠中に成長ホルモンが分泌されるため睡眠確保が大切です。そのためにも、日中は身体を動かし、決まった時間に食事を摂るなどの工夫が必要です。2~3か月すると習慣化するようなので、少しの期間、大人の仕掛けと毅然とした態度が必要です。

山の子 LIVES (放課後児童育成クラブ)

プログラミング

来年から小学校でも必須となる予定のプログラミング。習い事でも人気のようですね。山の子 LIVES ではレゴとタブレットを使い、遊びながらグループでプログラミングを学んでいます。柔軟な発想と、物事を論理的に考える力が必要になりますが、子どもたちだからこそ、色んな工夫をして楽しみながら取り組んでいますよ。



そろばん

毎日取り組んでいるそろばんは、しっかり定着し、商工会の検定にもチャレンジするようになりました。合格が本人の自信につながるだけでなく、下級生の憧れにもなっています。